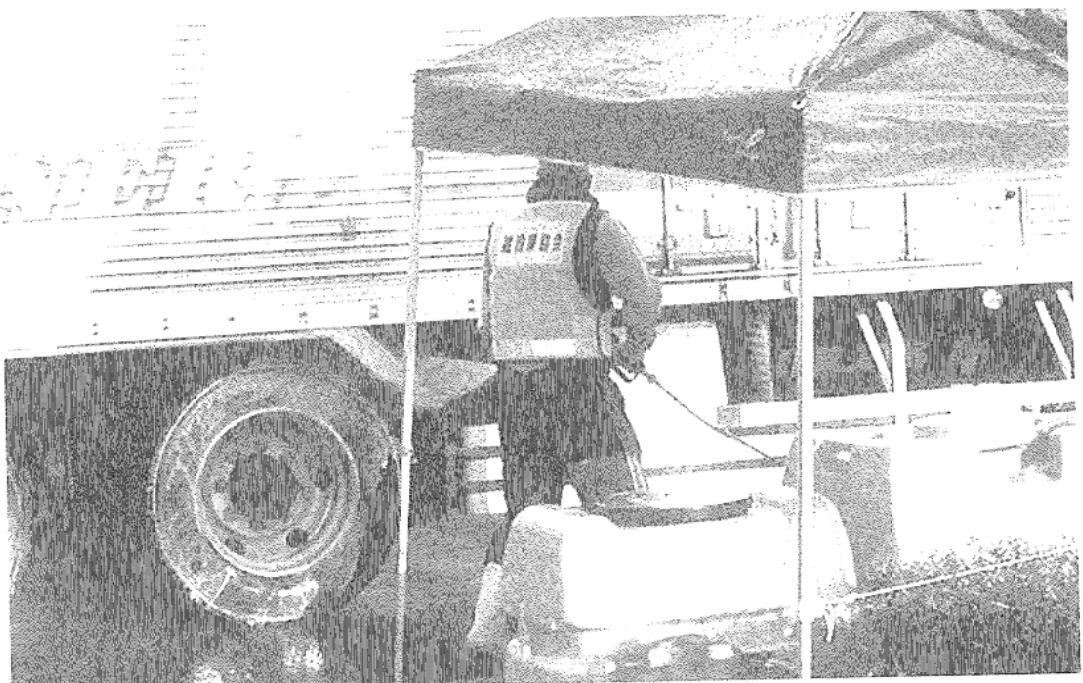


笠岡市で高病原性鳥インフルエンザ発生 ～県との協定に基づき感染拡大防止に従事～



制限区域内出入りする車両の消毒作業（笠岡支部）

岡山県建設業協会では、1月15日に笠岡市東大戸の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生したことを受け、会員の理解・協力のもと感染拡大を防ぐため夜も徹して懸命の作業を行いました。

今回の鳥インフルエンザの防疫措置として、岡山県と当協会が平成22年8月に締結した「口蹄疫等の発生における埋却等防疫措置に関する協定書」に基づき県からの協力要請を受け、8支部が消毒ポイントの設置運営および消毒作業、現場の対策本部の設置運営、処分鶏の焼却作業、感染性廃棄物容器等の運搬などを実施しました。（笠岡、井原、矢掛、浅口、倉敷、吉備、高梁、美作）

消毒ポイントとしては、発生場所から周囲半径10キロ以内の制限区域内の7箇所に4支部が設置し、発生当初から24時間体制で感染拡大を防止する防疫業務に従事しました。（笠岡、井原、矢掛、浅口）

特に笠岡支部は、テント22張、仮設トイレ10基、発電機、投光器などを提供し、現場の対策本部を設置するとともに、殺処分や搬出作業にも協力しました。

（消毒ポイントでの消毒作業）



笠岡支部の消毒ポイント

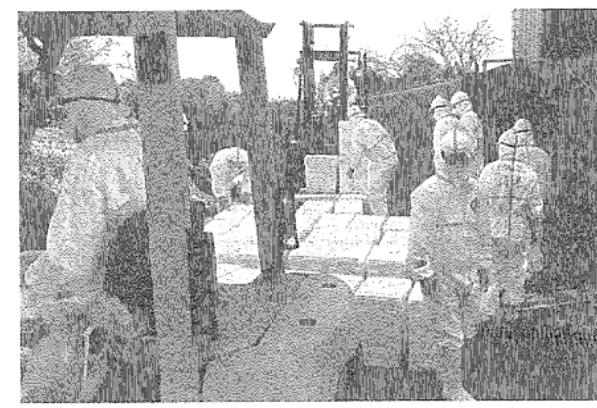


井原支部の消毒ポイント

（岡山県提供）



鶏舎内作業



ペール缶搬出作業



笠岡支部の消毒ポイント



井原支部の消毒ポイント



養鶏場消毒作業

